

令和4年 病害虫防除指導情報 第7号

作物名：水稻

病害虫名：斑点米カメムシ類

斑点米カメムシ類の発生量が多く、今後も増加が見込まれます。
～除草と本田防除を徹底してください～

1 発生状況

(1) 性フェロモントラップ（青森、木造、鶴田、十和田、七戸、八戸の6地点に設置）におけるアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺は、5月下旬の設置直後から認められ、誘殺数は平年並～やや多く推移している（図1）。

アカスジカスミカメは、6月中旬から認められ、誘殺数は津軽地域で平年より多く、県南地域では平年並に推移している（図2）。

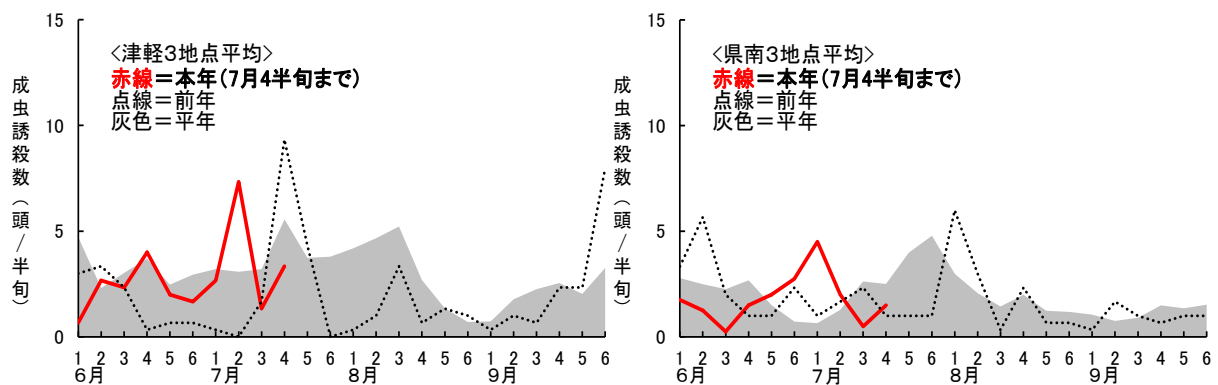


図1 性フェロモントラップにおけるアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺状況

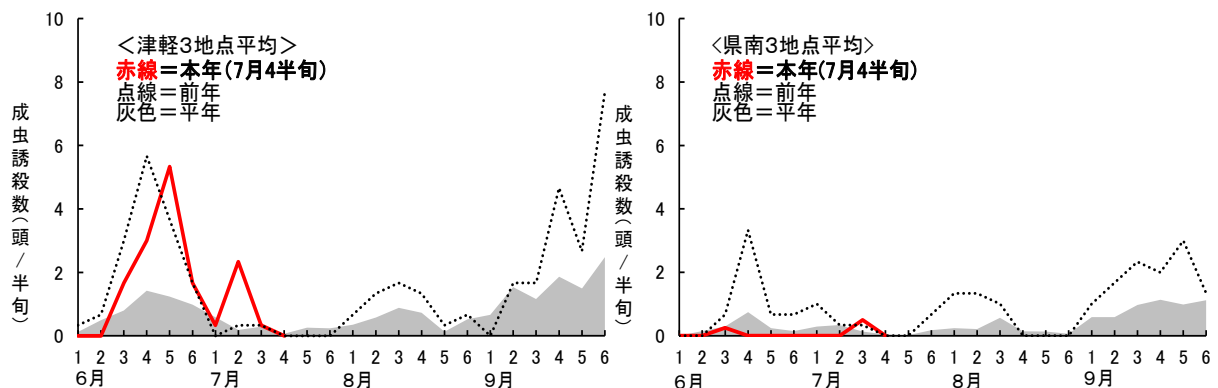
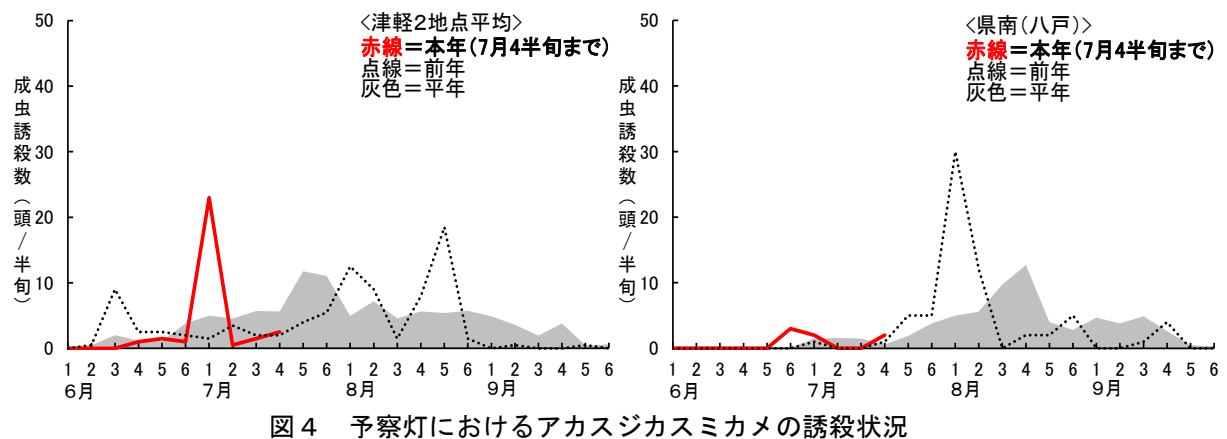
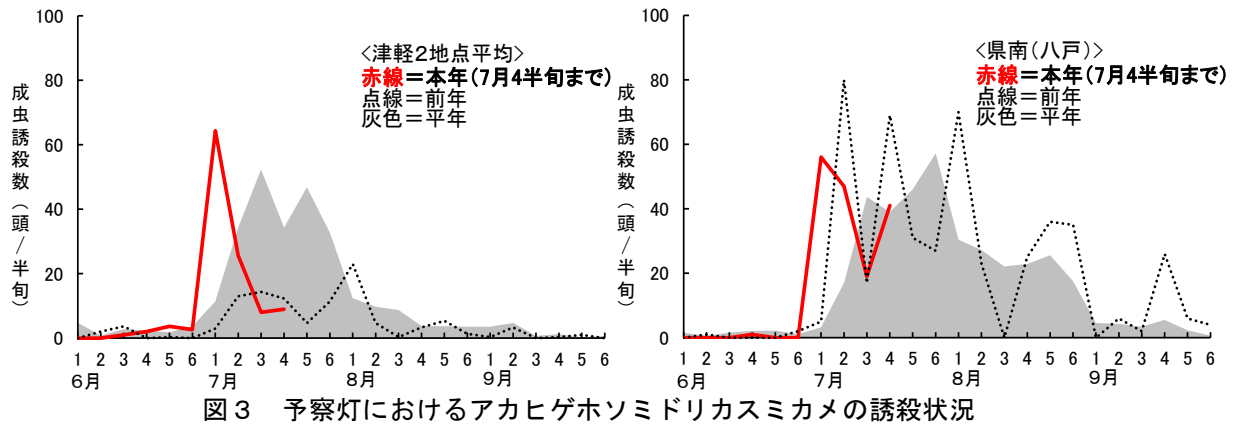


図2 性フェロモントラップにおけるアカスジカスミカメの誘殺状況

(2) 予察灯（青森、木造、八戸の3地点に設置）におけるアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺盛期は、平年よりやや早い7月上旬であった。誘殺数はいずれの地点においても、平年よりやや多く推移している（図3）。

アカスジカスミカメの誘殺盛期は6月下旬～7月上旬で、誘殺数は青森、木造で平年より多く、八戸で平年並に推移している（図4）。



2 今後の発生予想

気象庁の発表によると、向こう1か月の気温は平年より高いと見込まれているため、今後、斑点米カメムシ類の産卵量や次世代の発生量が増加し、水稻の出穂期から登熟期にかけて、本田への侵入量も多くなると予想される。

3 今後の防除対策

(1) 除草による防除

イネの出穂間際の草刈りは、逆に水田内に追い立てることになるので注意する。やむをえずイネの出穂後に畦畔等の草刈りを行う場合は、草刈場所周辺の水田において、ネオニコチノイド系（F:4A）又はフェニルピラゾール系（F:2B）殺虫剤散布直前から1週間以内を目途に行う。また、ピレスロイド系（F:3A）及び有機リン系（F:1B）殺虫剤の場合は、1回目の散布後速やかに行う。

(2) 茎葉散布剤による防除

ア 1回防除体系

(ア) 茎葉散布剤の施用時期に応じて適期防除を行う。

- a キラップ微粒剤F (I:2B) は穂揃期に、キラップフロアブル (I:2B) 及びキラップ粉剤DL (I:2B) は穂揃期～穂揃7日後に散布する。
- b スタークル液剤10 (I:4A)、スタークルメイト液剤10 (I:4A)、スタークル顆粒水溶剤 (I:4A)、アルバリン顆粒水溶剤 (I:4A)、スタークル粉剤DL (I:4A)、アルバリン粉剤DL (I:4A)、ダントツ水溶剤 (I:4A)、ダントツフロアブル (I:4A)、ダントツH粉剤DL (I:4A) は、穂揃7～14日後に散布する。

(イ) 例年斑点米が多い水田や休耕田等の雑草地に隣接する水田では、最終散布7～10日後に追加防除を行う。

イ 2回防除体系

(ア) エルサン剤 (I:1B)、スミチオン剤 (I:1B)、トレボン剤 (I:3A)、Mr. ジョーカー剤 (I:3A) などの合成ピレスロイド剤や有機リン剤を使用する場合は、穂揃期とその7～10日後の2回散布する。

(イ) その後もカメムシ類の発生が多い場合は、2回目防除の7～10日後に3回目の防除を行う。なお、天候不順によりイネの出穂期間が長くなると予想される時は、散布時期を5日程度遅らせる。

(3) 水面施用剤による防除

ア 水面施用剤は、各薬剤の施用時期に応じて適期防除を行う。なお、同じ成分の茎葉散布剤に比べて効果が安定しないことが多いので、例年斑点米被害が多い地域では、他作物への飛散が懸念される場合を除き、茎葉散布剤を使用する。

(ア) ダントツ粒剤 (I:4A) は、出穂5日前～穂揃期に施用する。

(イ) スタークル粒剤 (I:4A)、アルバリン粒剤 (I:4A)、スタークル1キロH粒剤 (I:4A)、スタークルメイト1キロH粒剤 (I:4A) は、穂揃期～穂揃14日後に施用する。

イ 天候不順によりイネの出穂期間が長くなると予想される場合は、各薬剤とも散布時期を5日程度遅らせる。

<農薬を使用する際には必ず最新の農薬登録情報を確認してください>

農林水産省「農薬登録情報提供システム」 <https://pesticide.maff.go.jp/>

(独) 農林水産消費安全技術センター「農薬登録情報・速報」

<http://www.acis.famic.go.jp/searchF/index/index.html>

～青森県農薬危害防止運動展開中！(6月1日～8月31日)～

○農作物や使用者の安全のため、農薬は使用基準を守って使用しよう！

○農薬散布の際は、周辺に農薬を飛散させないようにしよう！

※ 当情報は、青森県農業情報サービスネットワーク「アップルネット」病虫害防除情報 (<https://www.applenet.jp/>) に掲載しています。

【この情報に関する問合せ先】 青森県病虫害防除所 担当：技師 濱端 駿
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6 TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900